

# はじめに

Ca<sup>2+</sup> は細胞の種々の大切な機能に関して生体プロセスを調節する重要なセカンドメッセンジャーです。御子柴細胞制御プロジェクトは Ca<sup>2+</sup> の役割、特に細胞内 Ca<sup>2+</sup> 貯蔵庫から放出される Ca<sup>2+</sup> の細胞機能における役割を解明することを目指して平成 7 (1995) 年10月に発足し、受精、卵割、背腹軸の形成、神経突起の伸長、さらには脳の高次機能などにおいて Ca<sup>2+</sup> の果たす重要な役割を理解する上で大きな貢献をしてきました。

ERATOの研究プロジェクトは5年間という限られた研究期間の中で、先端的な研究を効率よく進めるための中軸となる研究者の選任と研究実施場所の迅速な整備が必要と考えて注力した結果、平成 7 (1995) 年11月には最初の3年間の研究実施場所となった目黒の萬有製薬(株)内に2グループの研究室を開設、年内には主要な研究者も着任し、早朝に研究をスタートさせることができました。あとの1グループは平成 7 (1995) 年度内に理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センターで研究を開始しました。便宜上3つのグループに分け研究を進めましたが、互いに密接な連携を保ちながら研究を進めることを基本方針とし、また各研究者が切磋琢磨して研究成果をあげ、技術員の技術向上も図れるように努めました。

各研究グループの研究実施場所と参加した研究員、技術員は次の通りです。  
(参加順、在籍期間省略)

## A. 機能分子・膜動態グループ

研究実施場所：[平成 9 (1998) 年10月まで]

東京都目黒区下目黒 2-9-3

萬有製薬(株)目黒工場内

[平成 9 (1998) 年11月から終了まで]

東京都文京区本駒込 2-28-8

理化学研究所駒込分所内

研究員：竹居光太郎、廣田順二、岡野美枝子、夏目徹

技術員：土井麻子、犀川和佳奈、西村久美子、徳重直子

## B. Ca<sup>2+</sup> 動態・生理機能グループ

研究実施場所：上記に同じ

研究員：加藤邦夫、糸昭苑、武藤彩、李勝天、辛龍文

技術員：星野明美、武山康子、齋藤みゆき、酒井恵子、石渡みずほ

### C. 細胞機能情報制御グループ

研究実施場所：[平成11(1999)年6月まで]

茨城県つくば市高野台3-1-1

理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター内

[平成11(1999)年7月から終了まで]

和光市広沢2-1

理化学研究所脳科学総合研究センター内

研 究 員：鈴木昇、二木啓

技 術 員：福田(旧姓相沢)裕子、齋藤浩充、中野陽子、久野泰子、長岡直美

また、本プロジェクトを運営し、その研究業務を支援してきた事務所スタッフは、技術参事の京極浩史、事務参事の横尾久明 [平成8(1996)年3月まで]、西野弘 [平成8(1996)年4月から終了まで]、事務員の高橋直子 [平成12(2000)年7月まで]、寺田俊子 [平成12(2000)年8月から終了まで]、の方々です。

本プロジェクトの充実した研究を遂行するにあたり、科学技術振興事業団の皆様をはじめ多くの方々のご支援とご協力を戴きました。とくに、プロジェクト発足時の研究実施場所の設置に多大のご協力を戴きました萬有製薬(株)および理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター関係者の方々、その後の研究実施場所の確保にご協力戴いた理化学研究所、同脳科学総合研究センターの関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。この5年間の研究期間の間にはそのほか多数の方々から有形無形の暖かいご支援とご助言を戴きました。心からお礼申し上げます。

平成12(2000)年9月

御子柴細胞制御プロジェクト

総括責任者 御子柴 克彦